

2012年4月3日開催 第567回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
齊藤善也委員 佐藤卓己委員 佐藤友美子委員(書面)

■ 毎日放送出席者

河内社長 松島専務 榎本常務 豊田取締役 河村取締役 梅本取締役 東取締役
立野コンプライアンス室長 柚山ラジオ局長、藤沢編成局長、堀内担当ディレクター

◆ 報告事項

- 1) テレビ・ラジオの4月改編の概要と特徴について、編成局長とラジオ局長がそれぞれ報告した。
- 2) 改正放送法を受け昨年からスタートした「放送番組の種別の公表」制度に則って、平成23年度下期の6ヶ月間の番組種別ごとの放送時間を編成担当取締役が報告した。合わせて同期間のCM総量および4月以降の基本番組表についても報告した。

◆ 審議事項

検証番組「マンスリーレポート」(放送:毎月第1土曜日 午前5:30~5:45)について意見を交換した。

各委員の主な意見は次の通り。

- * 自己検証番組という点、半分義務感で堅苦しい部分も感じる。もう少し明るく前向きな楽しい番組になったらいい。
- * BPOの指摘を受けての番組は、率直に言って好感が持てた。これを契機に社内ですごく議論が起きているだろうことは伝わってくるが、会社としての総括が一言ほしかった。
- * 番組で失敗が起こったプロセスをしっかりと検証することを繰り返していれば、納得できる失敗になっていく、教育的な活動というのは、おそらくメディアリテラシーも含めて納得できる失敗をどう重ねていくかということだ。
- * 「若きテレビ制作者への手紙」が職場に吊られていた。逆に吊ったことで、そこでおしまいみたいなメッセージも感じてしまったので、この問題については継続的にもっとやっていただきたい。

*身内だからと遠慮したらだめだ。遠慮すると、馴れ合いの番組になり、そうすると、ずっと視聴者は離れてしまう。

*MBSからの発信する番組だと思うが、「視聴者からこんな意見が出ました」と、単に紹介するのではなくて、それを受けて社としてはこんなことをしようとしているという新たな発信があってもいい。

*インタビューで問題点をあぶり出した点は良かったので、まとめて組織の課題として取り上げた方が視聴者にも改善の方向性がみえたのではないか。

以上